【中央官庁だより】◇「２０２７年問題」にご注意＝経産省②

25/04/07 07:30 KP32

蛍光灯から発光ダイオード（ＬＥＤ）照明への切り替えを促す特設サイトが先週、開設された。水俣病の原因となった水銀の輸出入規制を目的に、２０２７年度末から蛍光灯の製造が禁止されるためで、切り替え方法やＬＥＤ照明の使用メリットなどを紹介。製造禁止の背景などを示した動画も掲載されており、情報産業課の担当者は「計画的に切り替えていけるようにサポートしていきたい」と話す。一般家庭用を含めた国内の照明のうち、蛍光灯が占める割合は２３年度末時点で約４割。２３年秋の国際会議で製造が禁止されることが決まって以降、「非常に順調に切り替えは進んでいる」（担当者）という。一方で懸念されるのが、製造禁止に便乗した悪質業者の存在だ。商務情報政策局の中堅によると、「２０２７年問題」などと危機感をあおる表現でＬＥＤ照明の販売を試みる業者も確認されている。この中堅は「あくまでも製造が禁止されるもので、２７年度末に使用できなくなるわけではない」と強調。「急激な需要の増加は販売価格への転嫁を招く可能性もあるので、周知を徹底していきたい」と語っていた。（了）

（２０２５年４月７日／官庁速報）